

# えぐね

「えぐね」は、日本三大散居村の地、胆沢扇状地の屋敷の北西側に木を森のように植えて、冬の季節風から屋敷を守る防風林です。快適な住環境を形づくり、日本の原風景を代表する景観を生み出しています。本校が胆沢の地や人々にとってなくてはならない「えぐね」のような存在であり続けたいと願い、校報の名前にしています。

## 高校説明会・思春期学習会

7月6日、3年生は10校（近隣の高校と高専）の先生方においていただき、学校の様子を聞く説明会を開催しました。一日体験入学での情報も含め、今後志望先を具体化させることとなりますが、自分の思いと合致する学校を、慎重に選んでほしいと思います。

7日には、思春期保健学習会を開催しました。体と心のこと、性に関することについて講師（小見英夫氏）をお招きして、専門的な見地から学ぶ機会となりました。具体的な名称や事柄も多く紹介され、生命に思いをめぐらせることにもつながる内容でした。



## 震災学習遠足で宮古へ

2年生は8日に宮古（田老、浄土ヶ浜）への

学習遠足を実施しました。個人テーマを設定して臨み、現地ではガイドの方からお話を聞きながら、直接震災を学ぶ機会となりました。

この後のまとめの学習までを通じて、岩手に生きる一人として、震災を未来につなげる一歩にしてほしいと願っています。



また、4日には「スポーツと栄養」と題して胆沢学校給食センター（栄養士、栄養教諭）による食育指導を受ける機会もありました。

## 世界遺産を学ぶ学習遠足



1年生は6日に平泉へ世界遺産を学ぶ学習遠足を実施しました。事前学習と新しくできた施設の見学や、現地でのVR体験、ガイドの方のお話を通じて、仏国土(浄土)の世界観を感じてくれたことと思います。

## 相次ぐ上位大会進出決定

2～3日開催の県通信陸上大会には、多く選手が出場しました。その中で、高橋 陽さんが2・3年男子1500m2位となり、東北大会進出を決めました。おめでとうございます。

また、吹奏楽部は2日の県南地区大会で金賞を受賞し、県吹奏楽コンクールへ進出することとなりました。おめでとうございます。

## 本の寄贈

本校学校評議員でもある高橋清融様より『戦時下の高橋の大火を乗り越えて』を寄贈していただきました。

昭和17年(1942年)5月、当時の小山村高橋集落の火災で民家28棟、国民学校など多くの建物が焼失した大火のことと、その後の様子について詳しく記されています。戦争中での出来事であり、復興には苦労があったこと、学校再建には地域の方の協力があつたこと、再建された学校は小山秘匿飛行場建設につながりがあつたことも記されています。

丁寧な取材に基づく文章と共に写真が掲載されており、その内容に驚くと共に80年前の出来事についての貴重な資料になっていると思いました。校内で閲覧できるように準備しますので、教科書にはない、身近な地域の歴史に目を向けてほしいと思います。

## 進路を考える その5

今回は、進学先の選択にあたって、どんなことを参考にしたいかという質問です。

### 調査7 どんなことを参考にしたいか

#### <多い内容>

・学校でのテスト結果や教科の成績	94.1%
・学校外で受けた模擬テストの結果	82.0%
・見学や体験入学	81.8%
・学校案内やパンフレット	79.3%

#### <少ない内容>

・ボランティア活動の経験	42.2%
・職場体験活動での経験	49.8%
・社会人の講話	49.8%

各校の体験入学は、夏休み期間に多く開催されています。1・2年生を対象としている学校もあります。また、学校案内の内容はホームページに掲載している学校も多いようです。

実際に足を運んでみることで、家からの距離(交通機関や通学方法)、校内の雰囲気(周辺にある施設や環境)など感じ取れる事柄がたくさんあります。志望校が決まっている場合は、学校前で写真を撮り、それを見ながら気持ちを高めるのもよい方法だと思います。